

■ 図表6-6 サービス利用者の将来見通し等

第3期障害福祉計画数値目標集計

1. 施設入所者の地域生活への移行

平成26年度末における地域生活に移行する者の数値目標を設定する。当該数値目標の設定に当たっては、平成17年10月1日時点の施設入所者数の3割以上が地域生活へ移行することを基本として、これまでの実績及び地域の実情を踏まえて設定。→【目標値1】

平成26年度末の施設入所者数を平成17年10月1日時点の施設入所者から、1割以上削減することを基本として、これまでの実績及び地域の実情を踏まえて設定。→【目標値2】

平成17年10月1日時点の入所者数(A) (人)	平成26年度末の入所者数(B) (人)	【目標値】削減見込(A-B)(C) (人)	【目標値2】増減率(C)/(A) (%)	【目標値】地域生活移行者数(D) (人)	【目標値1】地域生活移行率(D)/(A) (%)
146,001	121,556	24,445	16.7%	36,249	24.8%

2. 精神障害者関係の目標値

都道府県に対しては、各着眼点に関する目標値を定める参考として、以下の指標を提示する。都道府県は、以下の指標を踏まえ、それぞれの実情に応じて、適切な目標値を定める。

【着眼点①】1年未満入院者の平均退院率

指標：平成26年度における平均退院率を、平成20年6月30日調査比で7%相当分増加させる。

【着眼点②】5年以上かつ65歳以上の退院者数

指標：平成26年度における5年以上かつ65歳以上の退院者数を、直近の状況よりも20%増加させる。

【着眼点①】1年未満入院者の平均退院率			【着眼点②】5年以上かつ65歳以上の退院者数			
平成20年度(A) (%)	平成26年度(B) (%)	【目標値】増加率(B)/(A)-1 (%)	調査時点(A)		平成26年度(B) (人)	【目標値】増加率(B)/(A)-1 (%)
			平成年度	(人)		
70.9	75.1	5.9%	—	3,825	4,291	12.2%

3. 福祉施設から一般就労への移行

福祉施設の利用者のうち、就労移行支援事業等を通じて、平成26年度中に一般就労に移行する者の数値目標を設定する。目標の設定に当たっては、平成17年度の一般就労への移行実績の4倍以上とすることを基本として、これまでの実績及び地域の実情を踏まえて設定。

平成17年度の一般就労移行者数(A) (人)	【目標値】平成26年度の一般就労移行者数 (人)	【目標値】一般就労移行比率(B)/(A) (倍)
2,392	9,954	4.2

4. 就労移行支援事業の利用者数

平成26年度末における福祉施設の利用者のうち、2割以上の者が就労移行支援事業を利用することを基本として、これまでの実績及び地域の実情を踏まえて設定。

平成26年度末の福祉施設利用者数 (人)	【目標値】平成26年度末の就労移行支援事業の利用者数 (人)	【目標値】一般就労移行比率(B)/(A) (%)
443,481	36,506	8.2%

5. 就労継続支援(A型)事業の利用者の割合

平成26年度末において、就労継続支援事業の利用者のうち、3割は就労継続支援(A型)事業を利用することを基本として、これまでの実績及び地域の実情を踏まえて設定。

平成26年度末の就労継続支援(A型)事業の利用者 (人)	平成26年度末の就労継続支援(B型)事業の利用者 (人)	平成26年度末の就労継続支援(A型+B型)事業の利用者 (人)	【目標値】平成26年度末の就労継続支援(A型)事業の利用者の割合 (%)
26,490	154,165	180,655	14.7%